

清流のほとり

令和8年8月27日（木）発行

園長 露木 美江 寄 松田



カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

周りのことに興味関心をもつことから

みなさん、①は幼稚園のどこの写真かわかりますか？
1学期終業式に、ちこちゃんにも登場してもらい簡単なクイズを出しました。幼稚園内の一角にポツンと生えていた草の写真です。コンクリートに覆われたある場所です。

①



初めに子どもたちに「ここはどこでしょうか？」という質問をしました。ほとんどの子がキョトンとする中、ある年長児が「わかった！ここでしょ」とホール横の、ドアを開けに行きました。まさかと思いながら、その子の後をついていくと、見事に写真の場所を案内してくれたのです！

ちこちゃんから「つまんねーやつだな」（言葉遣いが悪くてすみません・・・）と言われ、その子は大喜びでした。友達や先生からも思わず拍手がおこりました。

まさか①の写真で正解するとは思わなかったので、縮小した写真②を準備していましたが、出番はありませんでした。

②



次に「どうしてこんな所に草がはえているのでしょうか？」と聞いてみました。

すると、ある年長児が「下に土があるんじゃない？」と少し自信なげに答えてくれました。今度もちこちゃんから「つまんねーやつだな」と言われにこにこ笑顔になりました。隙間に土がある③の写真を見せる前にまた正解が出て、子どもたちの鋭い観察力、洞察力にとても驚かされました。

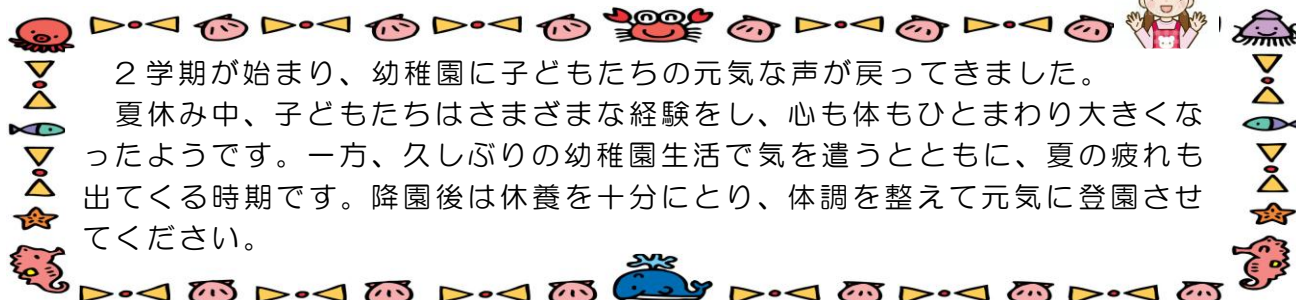
③



子どもたちは毎日の生活の中で、身近な周囲の環境とかかわりながら、そこに限らない面白さや不思議さを見出し、心を動かされていきます。五感をいっぱい働かせながら、興味関心はさらに高まり、好奇心が生まれ、探究心が湧き出てきます。どうしてこうなっているんだろうと思いを巡らせ、思考力を働かせます。幼児期は、さまざまな刺激や経験により、脳の神経をつなぐシナプスという接続点が急速に増え、脳のネットワークが一番豊かになる時期だそうです。

私たちも感性を豊かにしながら、周りの事象に立ち止まり、子どもたちとともに、不思議発見をしていきたいと思います。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



2学期が始まり、幼稚園に子どもたちの元気な声が戻ってきました。

夏休み中、子どもたちはさまざまな経験をし、心も体もひとまわり大きくなったようです。一方、久しぶりの幼稚園生活で気を遣うとともに、夏の疲れも出てくる時期です。降園後は休養を十分にとり、体調を整えて元気に登園させてください。